

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 9月12日更新

事務事業名		都市計画協会参画事業			<input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展	
総合計画体系	政策	5	都市基盤の健幸		所属部	都市建設部
	施策	20	計画的な土地利用の推進		所属課	都市計画課
	業務分野	63	計画的な市街地の形成		所属班	都市計画班
課長名		坂本 強		担当者名		村上 淳二
担当内線		(内線)		5262		
予算科目		会計一般	款 8	項 4	目 1	事業連番 10171 法根拠
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始		事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む)	本市は全域が昭和46年に熊本都市計画区域(熊本市、合志市、菊陽町、嘉島町、益城町)に指定され、昭和48年に区域区分制度(線引き)が導入された。平成19年に改正都市計画法が全面施行され、中心市街地の活性化やコンパクトなまちづくりが全国各地で試みられている。全国的な人口減少や少子高齢化社会に変わりつつある現在、都市や地域、生活・産業を見通した施策が求められており、都市計画や関連する制度・事業に精通した都市計画協会等に参画することで、これらの分野における様々な都市施策やまちづくりのための前提となる専門的知見が反映された調査研究の成果や各種情報等が得られる。また、研修会やセミナー等に参加することにより国の動向や先進地事例を得ることで都市行政職員としての資質向上に繋がる。
【業務の流れ】	負担金納入、資料の入手、研修会参加
【主な予算費目】	旅費、負担金

(1)事務事業の振り返り・計画
①6年度事務事業の成果・実績
負担金納入、資料・図書の入手、研修会参加により、国の動向や先進事例などの情報を得て活用した。

②7年度計画(次年度に計画している主な内容) 研修会参加、負担金納入、資料・図書の入手	③予算の主な増減の理由 市街化調整区域活性化連絡協議会参画事業(10165)と統合したため事業費の増
--	---

成果指標	(単位)	データ取得方法
ア 業務に役立った資料	件	
イ 研修が役立った職員数	人	

(2)成果指標・総事業費の推移	単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
成果指標	ア 件	24	24	24	24	24	24	24	24
	イ 人	1	1	1	1	1	1	1	1
事業費	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	繰入金	千円							
	一般財源	千円	159	143	309	244	295	295	295
	(A)事業費計	千円	159	143	309	244	295	295	295

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)
都市計画に関する資料及び研修により、職員の資質向上を図り、適切な事務の遂行に役立った。

(4)今後の事業の方向性
廃止
 縮小
 事業のやり方改善
 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)